

大学院単位認定

この公開講座・セミナー・シンポジウム等は大学院医学研究科の単位認定対象となっております。単位認定の条件や対象科目等は下記をご確認ください。

単位認定条件

大学院生の方は、受講後、「出席票」を教務課(大学院担当)までご提出ください。
出席票は、履修管理システムからダウンロードすることができます。

【履修管理システム】

博士課程 : <http://lms.juntendo.ac.jp/>

修士課程 : <http://mst.juntendo.ac.jp/>

認定科目

【博士課程】

Current Topics ※必修「大学院特別講義」に振り替えることはできません。

【修士課程(医科学コース)】

選択科目「**大学院セミナー**」

第38回

難病・遺伝医学 セミナー

講演：遺伝性不整脈遺伝子検査の解釈の変遷について

2022年

5月18日

水

18:00-19:00

講師紹介：藍 智彦先生

Invitae, Clinical Genomic Scientist

座長：岡崎康司（難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター）

司会：新井正美（難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター）

概要：1995年にQT延長症候群の原因遺伝子が同定されて後、16余のイオンチャネルや制御タンパクをコードする遺伝子が次々に関連遺伝子として発表された。1999年には、Brugada症候群の原因遺伝子が同定され、20以上の関連遺伝子が報告された。2003年にHuman Genome Projectが完了し、次世代シーケンサーが急速に普及すると、大量の病的意義不明のvariant (VUS)が検出されるようになった。この混乱を整理すべく、2015年に発表されたACMGガイドラインを基に、NIH ClinGenが、遺伝性不整脈症候群関連遺伝子リストを大幅に書き換えつつある。しかし、その分類法には疑問も多い。今後、遺伝子検査結果をどのように解釈していくのか？演者が参加した拡張型心筋症Gene Curation Expert Panelでの経験も含めて語りたい。

申込方法：以下の申込フォーム・QRコードよりお申込みください。

※開催日までに詳細と招待URLのご案内メールをお送り致します。

<https://forms.gle/aYYo1naN6o8zMrKv7>



LIVE配信（Zoom）にて開催
5月17日（火）17時締切

お問い合わせ 難病の診断と治療研究センター/ゲノム診療センター
新井/原田（内線71407/5167）
共催：順天堂大学大学院医学研究科

順天堂大学大学院HP QRコード

